

# 軍拡・増税 高まる反対

## 岸田政権 安保3文書 閣議決定

憲法破壊、「専守防衛」投げ捨て、敵基地攻撃能力の保有や軍事費倍増に踏み込む—岸田政権が「安保3文書」を閣議決定したことに不安と怒りが広がっています。



敵基地攻撃に活用する巡航ミサイル トマホーク

安保法制の強行で集団的自衛権行使=「戦争国家」づくりの「法制面」の整備を行った自公政権。今度は、それを担う自衛隊の能力の抜本的強化という「実践面」の整備を行うというのが「安保3文書」の方針。日本が攻撃されていなくても、米軍が始めた戦争で安保法制を発動し、他国の領土への攻撃を可能に。「国民を守る」どころか

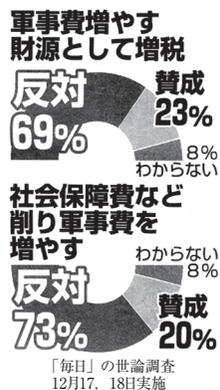
内閣支持率最低に 議論も説明もしない岸田内閣。12月、支持率が急落し、「毎日」25%、

日本を全面戦争に巻き込む危険な暴走です。

### 「戦争国家」お断り

軍事費と関連予算を2027年度に国内総生産（GDP）の2%へ倍増させることも明記。その財源を、庶民増税や暮らしの予算の流用・削減で賄う方針です。説明なき、大軍拡・大增税には世論調査でも約7割が「反対」。「戦争国家」への道はストップを。

「朝日」31%、「共同」33.1%、「日経」35%といずれも政権発足以来最低です。



折り目

しんぶん 赤旗

日刊 (毎日配達されます) 月3,497円

日曜版 (毎週配達されます) 月930円

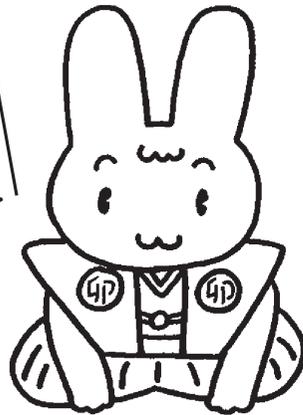
お申し込みはお近くの党事務所か 党員までお願いします

2023年 迎春

## 日本は歴史的岐路 戦争か平和か

# 反戦・平和の党 全力

お断りしお断りし



「まるで国を挙げて戦争に向かうためのような内容に驚かされる」—岸田政権による「戦争国家づくり」をメディアも批判しています。いま日本に必要なのは、大軍拡・戦争準備でなく、戦争の心配のないアジアをつくるため、憲法9条を生かした外交戦略を進めることです。

「戦争か平和か」の歴史的岐路。日本共産党は反戦・平和の党として全力をあげます。

近畿民報

2023年1月 No.1 (第530号) 発行/日本共産党国会議員団 近畿ブロック事務所 〒537-0025 大阪市東成区中道1-10-10ホクシンビース102号 Tel.06(6975)9111 Fax.06(6975)9115 Eメール:jcpkinki@cronos.ocn.ne.jp

日本共産党

※日本共産党は以上の見解を発表しました。